

都市再生整備計画 事後評価シート
新加納地区

平成27年 3月

岐阜県各務原市

様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名 | 岐阜県 | | 市町村名 | 各務原市 | | 地区名 | 新加納地区 | | | 面積 | 37.4ha | | |
|--------------------------------------|---|-------------------------|--|---|------|---------|-----------------------------|--|-------|------------------------|--------------|--|---------|
| 交付期間 | 平成22年度～平成26年度 | | 事後評価実施時期 | 平成26年度 | | 交付対象事業費 | 348百万円 | 国費率 | 0.4 | | | | |
| 1)事業の実施状況 | 当初計画に位置づけ、実施した事業 | 基幹事業 | 事業名 市道那787号線整備(道路)、緑地整備事業(地域生活基盤施設)、(仮称)新加納立場広場整備(地域生活基盤施設)、市道那691号線整備(高質空間形成施設)、(仮)新加納地区土地区画整理事業(土地区画整理事業) | | | | | | | | | | |
| | | 提案事業 | 景観重要建造物保存事業(地域創造支援事業)、家屋等修景補助(地域創造支援事業)、新加納立場整備イメージ作成(まちづくり活動推進事業) | | | | | | | | | | |
| | 当初計画から削除した事業 | 基幹事業 | 地域生活基盤施設(緑地):緑地整備 | 事業名 | | | | 削除/追加の理由 | | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 | | | |
| | | 提案事業 | | | | | | | | | | | |
| | 新たに追加した事業 | 基幹事業 | 地域生活基盤施設(広場):新加納駅前広場整備 | 地域生活基盤施設(広場):新加納駅前広場整備 | | | | 地域生活基盤施設(広場):良好な管理緑地となり、事業による整備の必要性がなくなったため、事業を削除。 | | 地域生活基盤施設(緑地):影響なし | | | |
| | | 提案事業 | 高質空間形成施設(カラー舗装):市道那422号線、市道那430号線、市道那456号線、市道那429号線、市道那435号線外1 | 高質空間形成施設(カラー舗装):市道那422号線、市道那430号線、市道那456号線、市道那429号線、市道那435号線外1 | | | | 高質空間形成施設(カラー舗装):歩行者の安全に対する確保と地域に見合った修景整備を行うため、事業を追加。 | | 高質空間形成施設(カラー舗装):影響なし | | | |
| 交付期間の変更 | 当初 | 平成22年度～平成26年度 | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | | | | | | | | | | |
| | 変更 | 平成 年度～平成 年度 | | | | | | | | | | | |
| 2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | 目標値 | | 数値 | | 目標 | 1年以内の | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ 予定時期 | |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | | モニタリング | 評価値 | 達成度 | 達成見込み | | | |
| | 指標1 | 生活環境の改善 | % | 29 | H21 | 50 | H26 | | 71 | ○ | あり なし | 道路整備の区間を増やしたことにより、地区内の歩行の安全性や歴史性に配慮した沿道景観となったことが生活環境の満足度向上につながった。 | 平成27年4月 |
| | 指標2 | 地域内回遊者数 | 人 | 2 | H21 | 12 | H26 | | 14 | ○ | あり なし | 地区の玄関口である新加納駅前や新加納立場に広場が整備されたことで、地区内を回遊する際の滞留場所や地域住民の交流の場となり、地区内の回遊者数増加につながった。 | 平成27年4月 |
| 指標3 | | | | | | | | | | あり なし | | | |
| 3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | 目標値 | | 数値 | | 目標 | 1年以内の | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ 予定時期 | |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | | モニタリング | 評価値 | 達成度※1 | 達成見込み | | | |
| その他の数値指標1 | | | | | | | | | | | | | |
| 4)定性的な効果発現状況 | <p>○地域住民やまちづくり団体とのワークショップを行ったことにより、地区内住民の意識に変化が現れ、自主的な緑地の整備や、沿道景観に配慮した住宅の外観の整備が促進した。</p> <p>○市民による2つのボランティア団体が新たに組織され、中山道新加納立場周辺の美化・清掃活動の取り組みを実施しており、安心して歩ける空間づくりに寄与している。</p> <p>○本地区のまちづくり団体と地元の中学校の生徒により進められた「日吉かえるプロジェクト」の取り組みもあり、これを契機にご当地キャラクターとして活動できるような商品開発など活気ある取り組みに発展している。</p> <p>○新加納立場に設置された「かえる」のオブジェが多くの人目に触れることで「日吉かえる」を知る機会を通して、地域の歴史を知る機会ができたとの意見があった。</p> <p>○地区のイメージがアップし、自分のまちに誇りや愛着を持つことができたという意見があり、本地区をより良くしていくために協力していきたいとの意見があった。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 5)実施過程の評価 | 実施内容 | | | 実施状況 | | | | 今後の対応方針等 | | | | | |
| | モニタリング | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | | | | |
| | 住民参加プロセス | ・地域住民・行政協働によるワークショップの実施 | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | ● 今後も定期的なワークショップを開催し、まちの魅力を持続させていく方針の検討を行う | | | | | |
| 持続的なまちづくり体制の構築 | ・新加納地区内のまちづくりを担う団体による活動 | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | ● ボランティア組織等との協働活動及び支援を行う | | | | | | |

様式2-2 地区の概要

新加納地区(岐阜県各務原市) 都市再生整備計画事業の成果概要

| まちづくりの目標 | 目標を定量化する指標 | | 従前値 | 目標値 | 評価値 |
|--|------------|-------|--------|--------|--------|
| 大目標:『歴史的な趣と調査するまち並みの保全と安全・安心なまちづくり』 目標1:歴史的な趣を活かした、魅力・活気のあるまちづくりの推進を行う 目標2:工場跡地を利用した、区画整理による低層住宅系の基礎整備を行い、地域の活性化を図る 目標3:歩行者が安全で安心して歩ける道づくりを行う | 生活環境の改善 | 単位: % | 29 H21 | 50 H26 | 71 H26 |
| | 地区内回遊者数 | 単位: 人 | 2 H21 | 12 H26 | 14 H26 |
| | | 単位: | | | |

高質空間形成施設(カラー舗装)

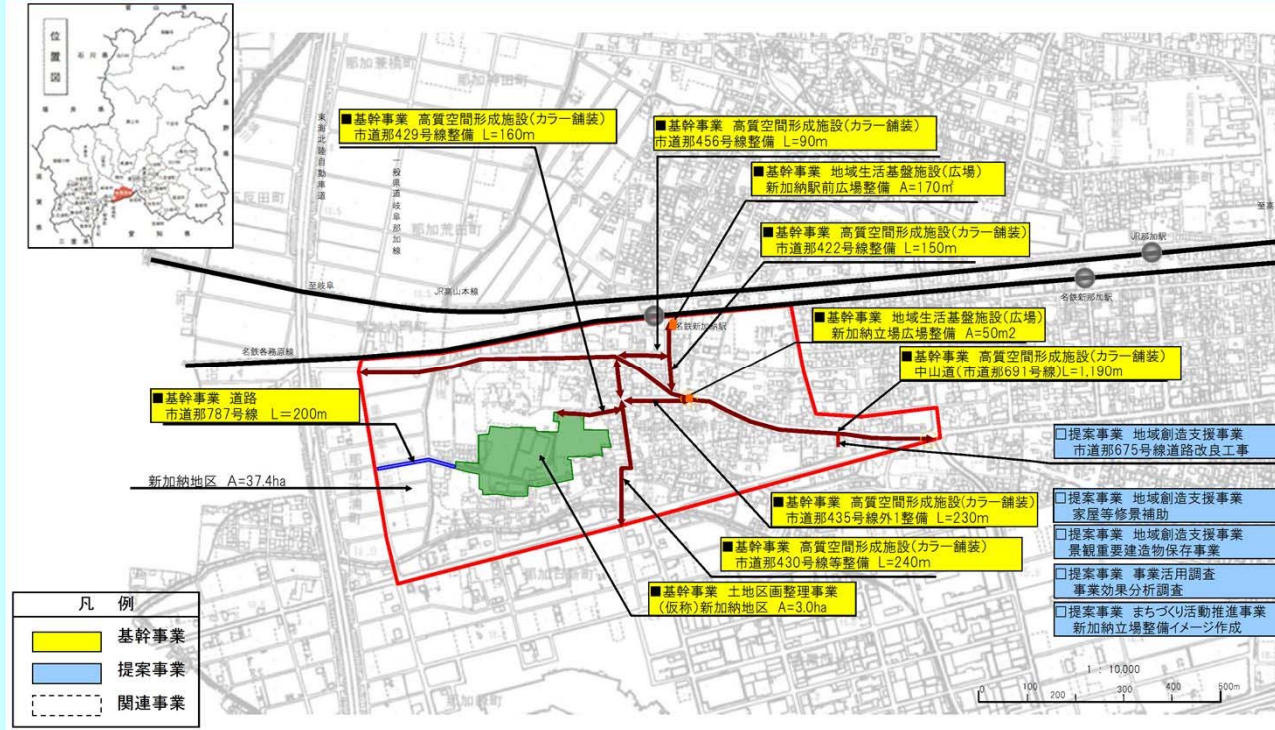
市道那435号線外



市道那430号線



市道那456号線



地域生活基盤施設(広場)
新加納駅前広場



地域生活基盤施設(広場)
新加納立場広場



達成されたこと

- ・中山道の立場周辺の道路修景整備や家屋の改修が行われ、歴史と調和したまち並み景観の保全に寄与した。
- ・通学路である歩行空間のカラー舗装化や新加納駅前広場の整備により、通学時の児童をはじめとする歩行者の安全性の向上した。
- ・新加納地区のまちづくりをテーマとした定期的なワークショップを行い、また日吉かえるプロジェクト(那加中学校との連携)などのまちづくり団体活動等が相まって、住民のまちづくり意識や地区コミュニティのが向上した。

残された未解決な課題および新たな課題

- ・地区の歴史文化を発信する場として、回遊性を高めるための拠点づくりや交流の場および機会を創出していく必要がある。
- ・土地区画整理事業地内の住宅地整備に並行して、地区の歴史性や落ち着いたまち並み景観が損なわれないような住民意識の啓発が必要である。
- ・歩行者の安全性を確保するため、引続いて自動車のスピード抑制や運転マナーの向上等の交通事故抑止対策が必要である。
- ・地区の治安が改善されるよう防犯灯の設置や住民や警察による防犯パトロール等による防犯対策が必要である。
- ・現在まちづくり団体を中心とした地域活動が活発化しているが、これの継続に向けた協働によるまちづくり活動の支援が必要である。
- ・空き家の増加にまち並み景観の阻害や防犯面が懸念されるとともに、また来訪者の増加による地区の治安対策が必要である。

まちの課題の変化

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・住民、まちづくり団体等とともにワークショップを通じて、来訪者や地区住民の回遊性を高めるための拠点づくりや交流の場の整備および機会の創出を図る。
- ・通学時の児童の見守り活動や夜間の交通事故防止など、安全で安心して歩ける道づくりを行う。
- ・住民、各まちづくり団体、事業者、行政の連携強化を進め、子どもや若者などを巻き込んだ新加納地区全体の参加、まちづくりの担い手の育成等のまちづくり活動を支援する。
- ・既設の民家および新たに整備される住宅地について、地区の歴史景観に配慮した整備が促進されるよう、まち並み景観保全に関する情報発信・PR、地域学習等により住民意識の啓発を図る。